

令和元年度 静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会

河川管理レポート(R1.6.4)
沼津河川国道事務所

静岡県東部地域では、想定最大規模降雨による災害の軽減に資するハード・ソフトの取組を総合的かつ一体的に推進するため、国、県、関係市町が連携し「静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会」を設置しています。本年度の減災協議会では、現状の水害リスク情報や各機関が実施している減災にかかる取組状況等について共有するとともに、大規模水害時における警戒避難をテーマとして、「より安全で確実な避難に向けた対応」、「住民の防災意識向上や確実な避難に資する平常時における取組」、「警戒避難における連携」について意見交換を行いました。

日時: 令和元年6月4日(火) 14:00~16:00
会場: プラサ ヴェルデ コンベンションホールA
出席: 沼津市長、三島市長、御殿場市副市長、裾野市長、伊豆市長、伊豆の国市危機管理課長、函南町長、清水町長、長泉町長、小山町長、駿東伊豆消防本部警防部長、富士山南東消防本部消防次長、御殿場市・小山町広域行政組合消防本部警防課長、静岡県警察本部災害対策課長補佐、陸上自衛隊第34普通科連隊運用訓練幹部、静岡地方気象台長、静岡県危機管理部参事、静岡県東部地域局東部危機管理監、静岡県交通基盤部河川砂防局長、静岡県健康福祉部福祉長寿局長寿政策課長、静岡県沼津土木事務所長、沼津河川国道事務所長

議事 ○静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会 規約改正(案)
○取り組み状況報告(沼津河川国道事務所、沼津土木事務所、東部地域局、三島市)
○基調講演
○意見交換

基調講演: テーマ「平成30年7月豪雨による人的被害の特徴」について 牛山素行教授(静岡大学 防災総合センター)

意見交換: テーマ「大規模水害時における警戒避難」について コーディネーター 牛山素行



協議会開催状況

【基調講演】テーマ:「平成30年7月豪雨による人的被害の特徴」

静岡大学牛山教授より、平成30年7月豪雨における、洪水、土砂災害等による直接的な人的被害の特徴、避難の観点から講演をいただいた。

【講演要旨】

▼真備町の洪水氾濫は、ハザードマップで公開されている洪水浸水想定と大きな違いがなかった。また、土砂災害では、9割の犠牲者が災害危険個所の範囲内か近傍で発生しており、地形的に想定外の地域で災害が発生したという実態ではない。このことから、平成30年7月豪雨は想定内の災害であったと言える。

▼洪水、土砂災害は、起こりうる場所で発生した。ハザードマップを活用し、災害リスクを共有する。避難は、避難場所に行くことだけではない。差し迫った危険から命を守る行動全般が避難行動である。また、避難は「する」ものであり、「させる」ものではない。したがって、行政ができることは災害リスクを住民等に知ってもらうことが重要である。



牛山素行教授